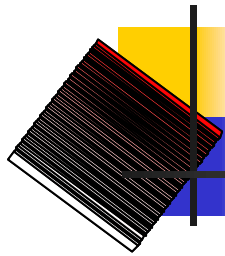


地域づくりグループ連携広域学習事業

～ 実践的手法から学ぼう! ～

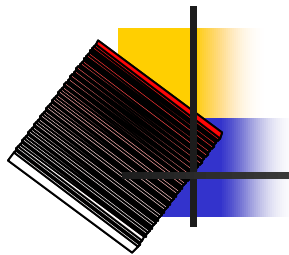
地域づくり課題解決 (しくみづくり)法」ダイジェスト講座
誰にも分る「コーチング手法」「プロジェクトマネジメント手法」
の養成講座

財団法人 山形県生涯学習文化財団
地域づくり協働WS (ワークショップ) 実行委員会



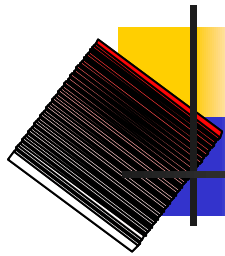
講座 NO. 1

- ✍ 開講式
- ✍ 基調講座 -
- ✍ 地域づくり課題解決 (しくみづくり)法」-



開講式次第

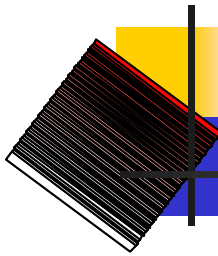
- ✎ 主催者挨拶
 - 財団法人生涯学習文化財団
 - 地域づくり協働WS実行委員会
- ✎ 地域づくり協働WS実行委員会紹介
 - NPO法人山形専門家ネットワーク
 - NPO法人山形アビリティズネットワーク
 - 山形ネットジャーナリスト協会
 - ユニヴァーサルデザイン研究会
- ✎ まなび講座スケジュール・概説



基調講座 -

講師 山本 啓氏 東北大学大学院情報科学研究科
政治情報学分野 (公共政策論) 教授

- ✍ 課題解決手法の現状・問題そしてこれからの潮流」
- ✍ 本講座に期待するもの・その可能性」



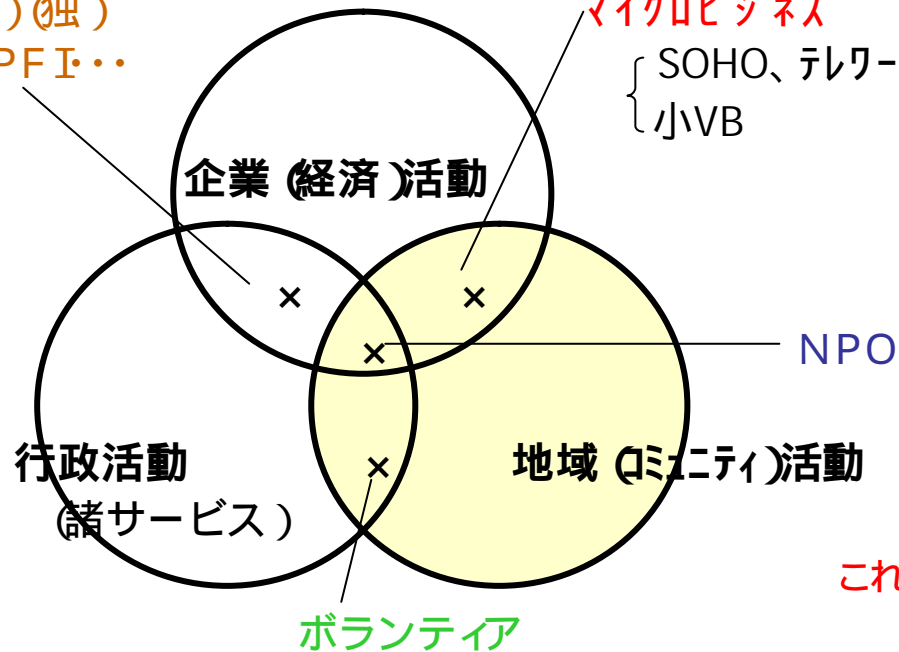
講座企画の背景

< 地域社会を変える力 (地域力) の相関 >

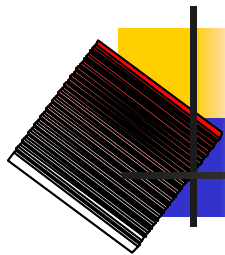
(財)(社)(独)
3セク、PFI...

マイクロビジネス

{ SOHO、テレワーカー、CB
小VB



これに 学 が加わる



ダイジェスト講座 -

「地域づくり課題解決 (しくみづくり)法」-

地域づくりの「基本手法」

講師 黒沼 貞志氏 (NPO法人山形専門家ネットワーク会員)

地域づくりの「IT領域の役割」

講師 林 陽介氏 (NPO法人山形アビジネスネットワーク会員)

海谷美樹氏 (山形ネットジャーナリスト協会理事)



地域づくりに「期待されるもの」

✎ 地域づくりとは?!?

< 趣味の領域 > と < 地域づくり団体 > との差異



使命(ミッション)の有無とその比重

活動成果への期待感

県内外の「地域づくり活動の概観」

= 組織形態 =	行政依存型	: 継続性確保の資金依存
	単独自立型	: 資金確保手段保有
= 対象領域 =	単独領域型	: 活動地域&分野限定
	複合領域型	: 目的・リソース保有



地域づくりに「期待されるもの」

これからの「地域づくりの潮流」

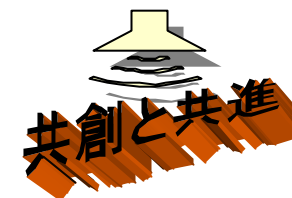
行政依存型 → 住民主導へ

単独自立型 → 自立分散 & ネットワーク型 へ

単独領域型 → 異分野連携型へ

複合領域型 → 機動力発揮型へ

連携と協働



地域づくりに期待されるもの

任意団体から積極運営型団体へ

→ 地域雇用 (起業など) への間接的効果

地域間 & 世代 (老若男女) 間コミュニケーション交流



地域づくりの「基本手法」

- ✎ これからの地域づくり **成功の鍵**
コミュニケーションギャップの克服
トップダウン&ボトムアップの限界克服



活動の3本柱

- 1.ハード(インフラ 設備 システム)
- 2.ソフト(ハードの運用 活用のプロセジャー & 仕組み)
- 3.人材 (利用者 住民&運用者 企業 行政など)



地域づくりの「基本手法」

合意形成の確保

アカウンタビリティ(プロセスのオープン化)の確立

協働ワークショップ



協働ワークショップのメリット

- (1) 事業の目標の確認及び明確化
- (2) 目標達成のための手段の見落としの低減
- (3) 団体、関係者と支援者の **合意形成** の生成
- (4) 重点課題の定量的抽出
- (5) 重点課題の担当化と実施計画書の作成
- (6) 業務の **アカウンタビリティ(説明責任、透明性)** に寄与



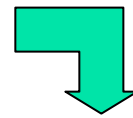
共創・共進



地域づくりの「基本手法」

✎ 行政との連携手法の新しい潮流

目的達成感の共有



＜アウトソーシング＞から＜コソーシング＞へ

アウトソーシング 業務の外部委託（企業では費用削減が主眼）

コソーシング 協働作業を通じて外部（受託側）にある技術・知識などを内部（委託側）に取り込むメリットと目的達成感の共有が図れる